

第27回 中学生英語スピーチコンテスト

YMCA委員長 乙部元弘



11月3日(土)文化の日に「第27回中学生英語スピーチコンテスト」が熱海起雲閣の音楽サロンにて12時より緊張感の中、無事に執り行われました。今年度の参加校は県の東部・伊豆地区から19校が参加し51名にて日頃の勉強・練習の成果を一生懸命に披露しました。

今回のコンテストは審査委員長に熱海YMCA・下田クラブの土屋恒夫先生、審査員として熱海クラブの三井敏正先生(浜松大学教授)、そして各校のALTのMichael先生、Monika先生の4名で行われ採点も非常に僅差の中、先生方も大変だったと思います。

私は、昨年のスピーチコンテストには仕事の都合で参加出来なかったのですが、今年初めて参加してみて、今の中学生の英語力の凄さには大変に驚かされ学生の中には身振り手振りを交えた発表に本当に真剣に耳を傾けて聞き入ってしまいました。ただ、残念な事に開会中に一人だけ男子の学生が体調不良により発表できず、これまでの成果を披露出来なかったのは非常に可愛そうでした。

ただ、参加した生徒たちにとってはあのような大勢の中で、またあのような緊張感の中で体験したことを、これからの人生において色々な場で役立ててもらえたら嬉しく思います。

最後に熱海YMCAの理事・運営委員会の皆様、そしてスピーチコンテストを行うにあたり朝から会場の設営や各役割の担当、閉会後の片付けなど御協力いただきましたワイズのメンバーの皆様方、本当にありがとうございました。



- 入賞者**
 熱海市賞 富士岩松中学校 3年 田中 翼
 特別賞 御殿場西中学校 3年 福元愛美
 特別賞 日本大学三島中学校 3年 及川翔光
- 第1部**
暗唱の部
 1年
 1位 伊東南中学校 横山未波
 2位 三島南中学校 小島正次郎
2年
 1位 伊東北中学校 戸辺綾子
 2位 熱海小嵐中学校 宮下七海
 3位 伊東南中学校 飯島萌花
3年
 1位 熱海泉中学校 指谷来喜子
 2位 熱海中学校 安藤加奈子
 3位 東伊豆稲取中学校 山田安那
- 第2部**
自作の部
 1年
 1位 加藤学園暁秀中学校 飛騨野 隼
 2位 熱海小嵐中学校 青山美樹
 3位 日本大学三島中学校 小島一恵
 井口 碧
2年
 1位 函南町函南中学校 岩谷奈都子
 2位 " 岩谷美智子
 3位 三島中学校 室伏美佳
3年
 1位 富士吉原中学校 廉 東奇
 2位 南伊豆町南伊豆中学校 増田智美
 3位 小山町小山中学校 小平田七海



第一回わいわい談議

EMC会員選考会則研究委員会 二見康一



第一回わいわい談議(10月15日)は、通常より30分早く始めました。「わいわい」が始まると終了してしまうからです。今回の談議は、会員増強について語ってもらいました。どこかのクラブは、有力な夜行性人間のネットワークで会員を増やしているそうです。残念ながら当クラブは夜遊びを卒業したメンバーが多く、とても同じような勧誘は望めません。今までの事業をもっとアピールして支持を広げ、地道に拡大して行くのみです。

さて、談議の内容をお知らせしましょう。事前のアンケートを基に、入会のアイデアや今後の取り組みにも花が咲きました。

1. 広報活動の活発化
2. ワイズメンズクラブの知名度アップ
3. YMCA・キリスト教における宗教との関係
4. 会費についての考察
5. 女性会員の入会について
6. 100%例会の意義

その他、前後左右の議論が参加メンバーから噴出しました。会員増強はメンバー等しく危機意識を高くしていますが、一般社会に活動を理解してもらい広報活動も今までのマスコミ中心から、モバイル(ツイッター・フェイスブックなど)の利用など幅広く若者に活動を届け共に歩む同士をつのる。そして、活動しやすい範囲の会費と効果を実感できる事業の実現も急務かと感じました。当日は20名の参加者で、終了後も糸川の異国の地メキシコでまたまた「わいわい」が始まりました。

皆さん、お疲れ様でした。進行のご協力感謝。



12月 例会担当予告 | 例会日 / 12月16日

受	付	越村 修君	聖句朗読	内藤一郎君
同	上	安田克己君	開会の祈り	小林秀樹君
司	会	津田博之君	食前の祈り	西部慎介君
信	条	西島智仁君	閉会の言葉	

CHARTERED. DEC. 15. 1963

発行責任者	会 長	田 中 秀 宝
編集長	広報・会報委員長	大 川 貴 久
副編集長	副委員長	村 瀬 善 之
編集委員	小倉幹史・内藤一郎・松井清一	
事務所(〒413-8799) 静岡県熱海郵便局内私書箱37号		
TEL・FAX(0557) 81-7518		

